

電子・電気科 電気工事コース

配電理論・配線設計

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	計良 信和			実務 経験	有	職種	電気技術者				

授業概要

電気が家庭などに供給されるまでの仕組みや配線の設計などを学びます。

到達目標

第二種電気工事士試験（国家試験）に合格するレベルの知識と技術を習得する事を目標とする。

授業方法

教科書や配布資料をもとにし授業を進める。各テーマごとに練習問題を配布し、授業の要点を確認しながら確実に理解度が向上する様に進めていく。また、電設業界の現場で必要とされる業務に関わる知識・技術の情報について適宜提供していく。質疑応答は隨時受け付ける。

成績評価方法

試験・課題：80%試験と課題を総合的に評価する。小テスト：10%授業内容の理解度を確認するために中間試験を実施する。平常点：10%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。遅刻、欠席、課題提出の遅れや未提出は、評価の対象とする。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

教科書教材

第二種電気工事士筆記完全マスター第2版／電気設備技術基準・解釈／自作プリント

回数	授業計画
第1回	電気方式・配電方式
第2回	電線太さの決定
第3回	単相3線式配電の特徴

第4回	引込線及び引込口配線
第5回	過電流保護
第6回	地絡保護
第7回	接地の概要
第8回	電圧降下・電力損失
第9回	幹線の設計
第10回	分岐回路の設計